

受注入力

受注入力では得意先の受注を入力します。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

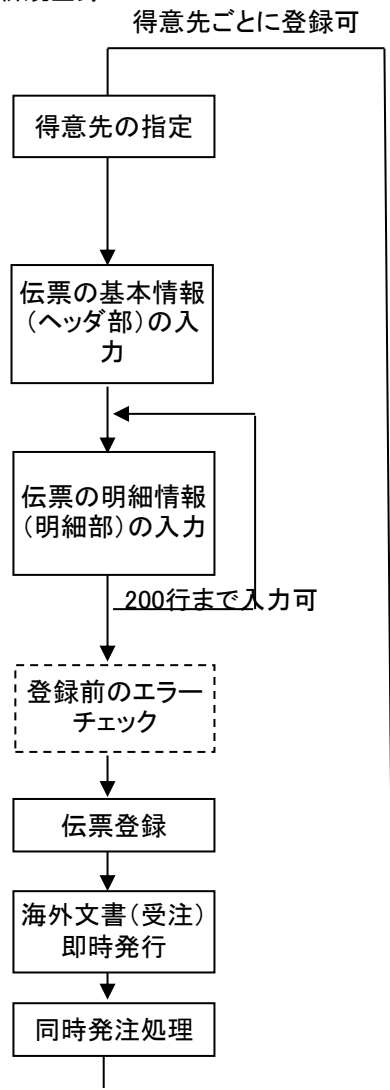
1) 受注入力概要

Point

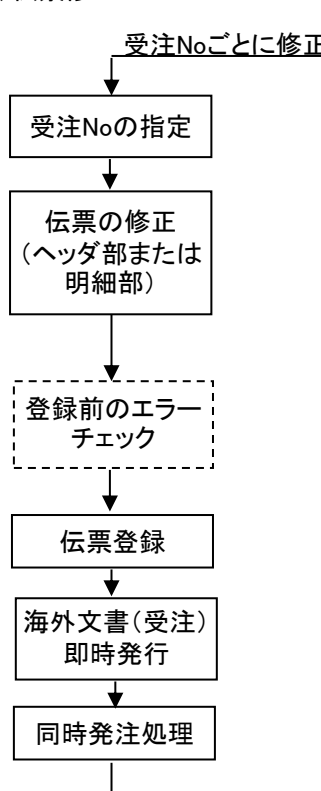
- ・受注入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 受注から売上へリレー入力することにより、分納も含め、受注残管理が行えるようになります。
 - ② 出荷指示書の発行ができます。
(海外の得意先の場合は「海外文書(受注)」のエクセルが出力されます)
 - ③ 受注明細表が作成でき、多角度からの受注データ集計や分析ができます。
 - ④ 同時発注処理をすることで、同じ内容を発注伝票へ複写し、入力する工数を削減できます。
※ただし、同時発注する場合には、伝票機能の受注の設定にて「同時発注する」をONにする必要があります。

・受注入力の操作の流れ

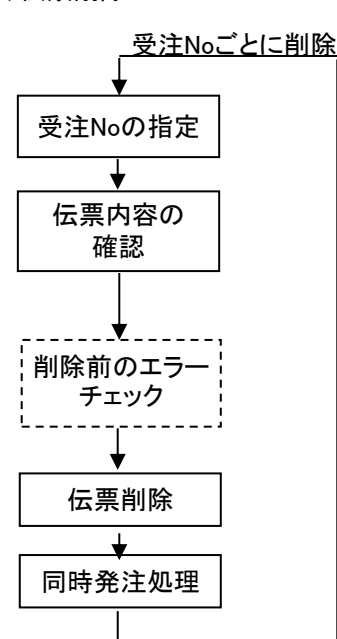
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※受注伝票は伝票Noは重複可能ですので
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

項目名称	説明
伝票No	受注伝票のNoです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
得意先	受注した得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) Point <ul style="list-style-type: none"> 得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正できます。 F3キーまたは、ダブルクリックでその得意先の登録画面が表示されます。 ※表示された得意先登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度得意先を指定しなおして下さい。 得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
税処理区分	伝票の税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。 伝票の新規入力時は得意先の税処理区分を表示します。修正、削除時は以前に伝票が登録された時の税処理区分の値を表示します。 Point <ul style="list-style-type: none"> 税処理区分は伝票の新規入力時のみ得意先マスタの値とは別の値を指定できます。 得意先指定後にEnterキーを押さずにマウスで税処理区分をクリックすることで得意先の税処理区分とは違う税処理区分で伝票を作成できます。 (得意先指定後にEnterキーを押して入力モードに入り基本情報が表示されている状態になった場合は、「取消」ボタンを押下して得意先指定状態に戻ること で税処理区分を指定できます。)
受注日	受注日(伝票日付)を入力します。 Point <ul style="list-style-type: none"> 受注日には、運用設定で指定した受発入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
納期	受注品の納期を入力します。納期は必須入力です。 Point <ul style="list-style-type: none"> 伝票機能設定にて明細納期を使用する設定の場合、指定したヘッダ納期は明細行にコピーされます。 コピー後、明細行ごとに変更も可能です。 実際の各商品納期は明細行ごとに判定されます。 消費税率は、明細納期(明細納期を使用しない場合は納期)で決定されます。

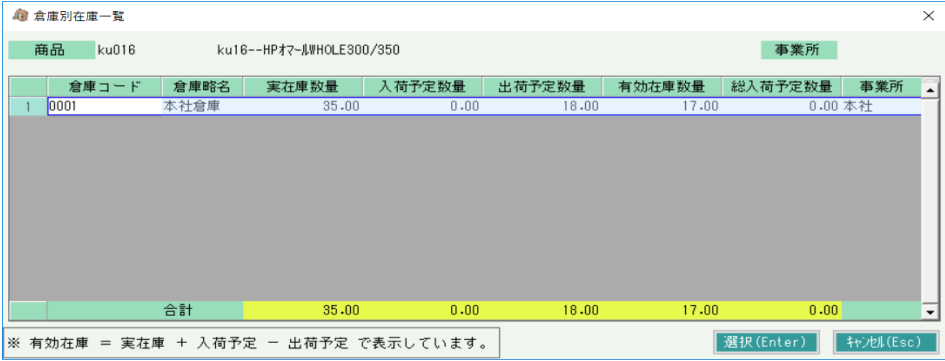
項目名称	説明
担当者	<p>この伝票の担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は運用設定の登録内容により異なります。</p> <p>当伝票がどの事業所の受注であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。</p>
納入先コード 納入先名 TEL FAX 住所 納ご担当	<p>納入先を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。 マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先の項目がクリアされます。 ・海外の得意先のみ、住所3、住所4、納入先ご担当が表示されます。
地区	<p>地区を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタで地区を設定していると新規伝票入力時にその値が初期表示されます。
先方担当者	得意先の担当者名を入力します。
先方注文No	得意先指定の注文Noを入力します。
件名	件名を入力します。
通貨	<p>海外の得意先のみ入力できます。国内の得意先はJPY固定です。 指定された通貨、受注日で月別レートマスタよりレートを取得します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタの通貨が初期表示されます。伝票単位で変更することもできます。 ・通貨が変更されるとレートをマスタより再度取得し、外貨単価、外貨金額が再計算されます。
レート	月別レートマスタから受注日のレートを初期表示します。手入力可能です。
Ship Via 船名等	<p>海外の得意先のみ入力できます。 海外文書に印字されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名等はタイトルを選択変更すると出力文書のその欄のタイトルも変更されます。
摘要コード 摘要名1,2	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名1, 2に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名1, 2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。 マスタの内容は変更されません。 ・海外文書では Terms の欄に出力されます。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。
ファイル	伝票に関連するファイルを指定できます。参照ボタンからファイルを指定します。 表示されたファイルのパスをクリックするとファイルを表示できます。 ファイルのパスを削除したい場合はクリアボタンをクリックします。


3) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。明細部には、受注内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

明細情報	仕入先コード	明細部
1	掛受注	000404
2	掛受注	0000010
計行		

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 200行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (チェック)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・掛受注 ... 通常販売する商品を指定する場合に選択します。 倉庫を指定している場合、有効在庫をおさえることができます。 ・掛値引 ... 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。納期、受注原価は入力できません。 単価を入力すると自動でマイナス表示になります。 明細合計に対しての値引きを入力する場合は値引用商品を予め登録しておき、それを使用します。 ・掛経費 ... 諸経費を入力する場合に選択します。納期、原価、倉庫は入力できません。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき商品に「送料」を指定します。 ・摘要 ... 摘要行を入力する場合に選択します。品名、品名2と備考のみ入力できます。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。 ・メモ ... メモ入力する場合に選択します。 摘要行と違い、メモ行は対外文書には印字されません。 同時発注した場合、発注伝票にコピーされます。
出荷	受注明細の出荷状況を表示しています。 受注Noを指定しての売上(リレー売上)を行うと出荷状況が変わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・「未納」 ... まだ1つも売上されていません。新入力時は全て「未納」です。 ・「一部」 ... 売上されていますが完納にはなっていません。 ※売上時に数量「0」で入力されている場合も「一部」と表示されるので注意。 ・「完納」 ... すべて売上されて完了している状態です。 <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納と一部は受注残の扱いとなります。 ・売上传票で受注残数より少ない数を入力した場合、自動的に一部になります。 ただし受注明細の「出荷」をクリックして手動で修正することにより受注残≦売上数の場合でも「一部」の状態にすることができます。 反対に受注残>売上数の場合でも「完納」にすることができます。 ・受注明細表で受注残数を出力することができます。 ・摘要行、メモ行は売上にリレーされますが、受注残の管理や出荷状況の管理は行いません。

項目名称	説明
商品コード	<p>受注した商品コードを入力します。伝区が「摘要」「メモ」以外は入力必須です。コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品コードを入力すると、商品マスタに設定されている「倉庫」「品名」「品名2」「入数」「単位」などが初期設定されます。 「明細納期」はヘッダに指定されている納期が初期表示されます。 運用設定の登録内容によってはSpaceキーで商品参照すると伝票の得意先＝商品マスタの得意先の商品を表示することができます。商品を主に決まった得意先に売り上げる場合に使用します。 F3キーまたは、ダブルクリックでその商品の登録画面が表示されます。 ※表示された商品登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度商品を指定しなおして下さい。
品名	<p>受注する商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。</p> <p>伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 品名は空白でも伝票登録可能です。 変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
品名2 (型番、規格)	<p>受注する商品名の補足情報を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。</p> <p>伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 品名2は空白でも伝票登録可能です。 変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
倉庫	<p>受注する商品の出庫元倉庫を選択します。 商品マスタに倉庫が指定されている場合はその倉庫を初期表示します。 商品マスタのロット区分＝通常商品の場合、F4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。  <p>※倉庫別在庫一覧は、商品マスタのロット区分＝通常商品の商品のみ表示します。 ロット商品に関しては、倉庫一覧のみ表示します。</p>

項目名称	説明
LOTNo	<p>LotNoを指定します。 明細行の商品のマスタで「ロット区分 = ロット商品」と登録している行のみ使用可能です。 受注伝票での指定は任意です。指定しなくても構いません。 SpaceまたはF4キーにて実在庫があるLOTNoのロット別在庫一覧を表示します。 F3キーにて、伝票日付から過去参照日数以内に入庫された全ロットを表示します。 過去参照日数は、運用設定にて設定することができます。 一覧から受注するLOTNo行を選択して下さい。 LOTNoは空白で登録することも可能です。LOTNoを手入力で指定することは出来ません。 LOTNoを指定すると、売上原単価にLOTNoの原単価が自動セットされます。</p> 
Lot連番	<p>ロット別在庫一覧から選択したLOTNoの連番が表示されます。入力はできません。</p>
賞味期限	<p>ロットNo入力時にロットに賞味期限があれば自動表示されます。入力はできません。</p>
明細納期	<p>納期を行ごとに年月日で入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 明細納期には受注日以降の日付しか指定できません。
原単価区分	<p>商品登録で指定した原単価区分が初期表示されます。 原単価区分を変更すると原単価区分に対応した原単価が自動表示されます。</p>
単価区分	<p>商品登録で指定した単価区分、単価区分名が初期表示されます。 単価区分を変更すると単価区分に対応した単価が自動表示されます。</p>
入数 ケース	<p>商品マスタに設定している標準入数が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。 整数のみ指定可能です。</p>
受注重量	<p>受注重量を入力します。 商品マスタの単位重量が設定されている場合、「数量 × 商品マスタの単位重量」が表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 重量の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。
受注数量	<p>受注数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。

項目名称	説明
重量単位	商品マスタに設定された重量単位が表示されます。
単位	数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されます。
受注原単価	受注原価の単価を入力します。 商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価が、 「LOT原価」の場合は、LOTNo入力時にLOT原価が設定されます。 「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」の場合は、在庫単価が初期値として設定されます。
受注単価	受注単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。 通貨が「JPY」以外の場合は入力できません。外貨単価×レートが設定されます。

Point

・単価の小数以下桁数は、運用設定で設定されています。

SpaceまたはF4キーにて単価情報画面が表示されます。
単価情報画面には商品マスタに登録されている単価と得意先商品別単価が表示されます。
この一覧から単価を選択し直すこともできます。
得意先マスタに設定されている単価掛率も表示されます。掛率は変更できます。
ただし、商品マスタの掛率要否が「不要」場合、掛率は表示されません。

単価を選択し、OKボタンにて採用。
掛率を変更することも可能。



F3キーにて売上単価履歴が表示されます。
初期表示では得意先と商品が伝票と同じ受注、売上を表示しますが条件を変更して再検索できます。

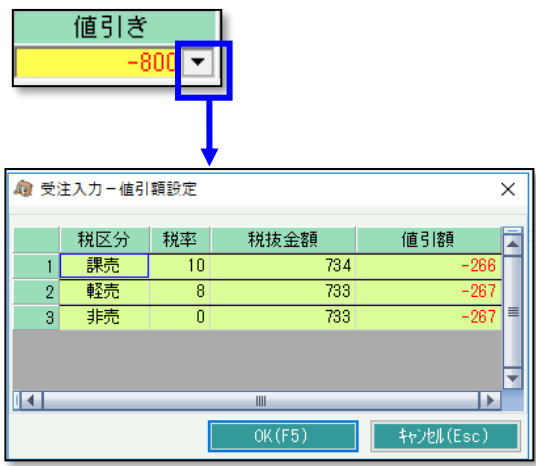


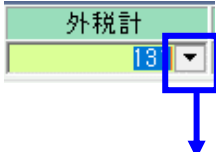

項目名称	説明
受注原価	<p>受注数量×受注原単価が表示されます。手入力も可能です。 (受注入力の場合、原単価区分、受注原価の設定によって重量×単価となります。)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 受注金額と受注原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
受注金額	<p>単価区分によって計算方法が異なります。 P:数量 受注数量×単価の値が表示されます。 C:ケース 受注ケース数×単価の値が表示されます。 K:重量 受注重量×単価の値が表示されます。 マイナスの入力も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や単価を入力せずに受注金額のみの手入力も可能です。 通貨が「JPY」以外の場合は入力できません。外貨金額×レートが設定されます。
外貨単価	<p>海外の得意先のみ表示されます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、こちらに単価が初期表示されます。 外貨単価を入力すると「外貨単価 × レート」が受注単価に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。 F3キーにて単価履歴画面、F4キー(またはSpaceキー)にて単価計算画面が表示されます。 単価履歴画面、単価計算画面は基本情報の通貨が一致するもののみ表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意先別単価登録、通貨別単価登録で登録した単価が初期表示されます。 通貨が「JPY」の場合は入力できません。
外貨金額	<p>海外の得意先のみ表示されます。</p> <p>通貨コードが外貨(JPY以外)の場合は、「外貨単価×数量」が表示されます。 外貨金額を入力すると「外貨金額 × レート」が受注金額に表示されます。</p> <p>小数点以下の表示桁数は、通貨マスタで設定します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 通貨が「JPY」の場合は入力できません。
備考1 備考2	<p>明細行の備考として任意の文字列を入力できます。 備考マスタで登録している内容をリストから選択することもできます。</p>
仕入先	<p>同時発注する場合は仕入先を指定します。商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入先を指定していると、受注同時発注画面が表示され、受注伝票の内容が発注伝票にコピーされます。 仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。
マーク (チェック)	<p>マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで 明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。</p>
税区分	<p>課税または非課税を選択できます。 商品マスタの内容が初期表示されます。</p>

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明																
粗利益率	<p>伝票全体の 粗利益＝受注金額計－受注原価計、率＝(粗利益／受注金額計)×100 で計算され表示されます。 画面には下8桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の小数点以下は四捨五入となります。 																
金額計	伝票全体の受注金額合計が表示されます。																
値引	<p>伝票全体に対しての値引を入力します。</p> <p>F4またはスペーキーを押すと、値引額設定画面が表示され、 入力中の明細税区分の税率ごとに、金額で按分された値引額を確認することができます。 按分時に端数が生じる場合は、先頭行の値引額にしわ寄せされます。</p>  <p>The dialog box '受注入力-値引額設定' contains the following table:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>税区分</th> <th>税率</th> <th>税抜金額</th> <th>値引額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課売</td> <td>10</td> <td>734</td> <td>-268</td> </tr> <tr> <td>2 軽売</td> <td>8</td> <td>733</td> <td>-267</td> </tr> <tr> <td>3 非売</td> <td>0</td> <td>733</td> <td>-267</td> </tr> </tbody> </table> <p>Buttons: OK (F5), キャンセル (Esc)</p> <p>受注で入力した値引額は、売上傳票にそのまま表示されます。 値引額は初回売上時のみ全額表示されますので、分納売上を行う場合は値引額を手入力にて修正してください。</p> <p>海外の得意先の場合は「値引」は表示されません。</p>	税区分	税率	税抜金額	値引額	1 課売	10	734	-268	2 軽売	8	733	-267	3 非売	0	733	-267
税区分	税率	税抜金額	値引額														
1 課売	10	734	-268														
2 軽売	8	733	-267														
3 非売	0	733	-267														

項目名称	説明
税額	<p>伝票毎外税の伝票の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。</p>
	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> <p>F4またはスペースキーで「伝票税額設定」画面が表示され、入力中の明細税区分と税率ごとの消費税額を確認することができます。表示された消費税は手入力にて変更することも可能です。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  </div>
	<p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p style="margin-left: 20px;">変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p style="margin-left: 20px;">変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を受注金額にセットして、端数調整する。</p>
	<p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p>
	<p>伝票毎外税は以下の通りです。 伝票毎外税...明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の合計金額で算出します。</p>
	<p>売上にリレーした場合は売上入力画面で税額は再計算されます。 外税額を訂正している場合は、売上入力でも手入力にて修正してください。</p>
合計金額	金額計+税額 の値が表示されます。

5) 受注伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・修正で伝票を開いた場合、出荷区分が「一部」または「完納」の明細行は品名1, 2と備考欄のみ修正可能です。
- ・修正登録した場合、発行済だった「出荷指示書」は未発行状態へ戻ります。

削除

- ・出荷区分が「一部」または「完納」となっている行が1行以上ある受注伝票は削除できません。
- ・先に売上傳票の削除が必要です。(売上を削除すると受注明細は「未納」に戻ります)
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。

6) 与信チェック

受注入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

与信限度額チェックをする …… 登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)

営業債権で与信チェックをする …… 与信限度額をチェックをするとき、受注残を含めるか含めないかを指定します。

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。

得意先債権情報			
H1A023		与信限度額	800,000
有限会社セントラルク			
売掛残高	96,400	買掛残高	10,240
未落受手	50,000	未払残高	2,000
売掛債権	146,400	未落支手	3,240
		買掛債務	15,480
		前受残高	3,000
<hr/>			
純売掛債権	127,920		
(売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高)			
受注残	666,360		
営業債権	794,280		
(純売掛債権 + 受注残)			
閉じる (Esc)			

Point

- ・消費税は全て調整税で集計されます。
- ・買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。

項目名称	説明
与信限度額	<p>与信限度日までの与信限度額 $\text{粗利益} = \text{受注金額計} - \text{受注原価計}$、$\text{率} = (\text{粗利益} / \text{受注金額計}) \times 100$ 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常+臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)</p>
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	<p>伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額</p> <p>Point 伝票日付(受注日) ≤ 期日 の場合、未落ちと判定されます。</p>
売掛債権	売掛残高+未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ.相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未払残高	与信限度日までの得意先マスタ.相殺仕入先の未払残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ.相殺仕入先の未落支手形
買掛債務	買掛残高+未払残高+未落支手
純売掛債権	<p>売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高</p> <p>Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない</p>
受注残	<p>登録済みの全受注残金額 (調整税で集計)</p> <p>Point 受注日は関係ありません。登録されている全受注伝票が対象です。 税込み金額です。税処理区分が「請求時外税」の場合、調整税(みなし税)が含まれます。</p>
営業債権	<p>純売掛債権 + 受注残金</p> <p>Point 運用設定が以下の設定の場合、営業債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 営業債権で与信チェックする → する</p>